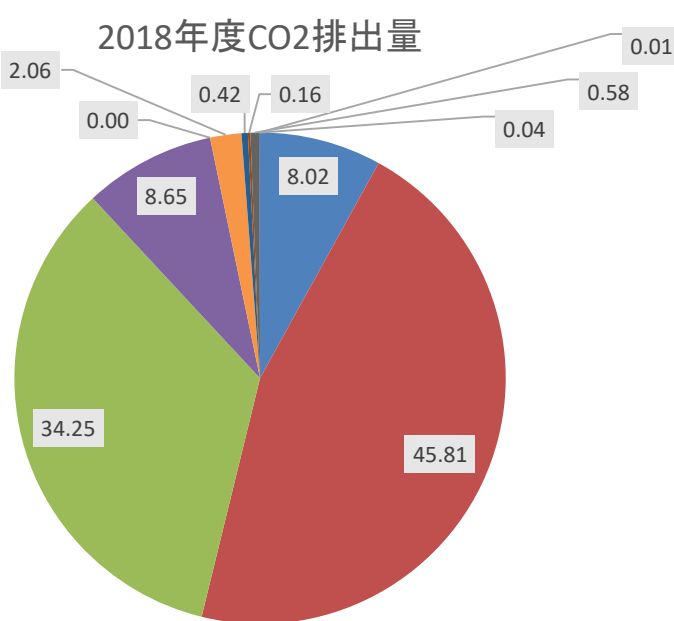


# ローム株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 業種：製造業</li><li>● 事業概要：半導体をはじめとする電子部品等の設計・開発、製造、販売</li><li>● 事業規模：連結売上高 398,989百万円、 連結従業員数 22,516人</li></ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>目標：2030年度に向けた総排出量削減目標を設定</p> <p>取り組み：省エネ施策の強化、燃料転換、プロセスガスの削減（除害装置設置）、再エネ購入促進、など</p> <p>&lt;Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>目標：2030年度に向けた総排出量削減目標、もしくはサプライヤーエンゲージメント目標を設定</p>

# ローム株式会社

項目	内容																									
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 8.02%</li> </ul>																								
	 <p>2018年度CO2排出量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Value</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SCOPE1</td><td>8.02</td></tr> <tr><td>SCOPE2</td><td>45.81</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー1)</td><td>34.25</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー2)</td><td>8.65</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー3)</td><td>0.00</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー4)</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー5)</td><td>0.16</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー6)</td><td>0.04</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー7)</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー8)</td><td>2.06</td></tr> <tr><td>SCOPE3(カテゴリー12)</td><td>0.01</td></tr> </tbody> </table>	Category	Value	SCOPE1	8.02	SCOPE2	45.81	SCOPE3(カテゴリー1)	34.25	SCOPE3(カテゴリー2)	8.65	SCOPE3(カテゴリー3)	0.00	SCOPE3(カテゴリー4)	0.42	SCOPE3(カテゴリー5)	0.16	SCOPE3(カテゴリー6)	0.04	SCOPE3(カテゴリー7)	0.58	SCOPE3(カテゴリー8)	2.06	SCOPE3(カテゴリー12)	0.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 : 45.81%</li> </ul>
	Category	Value																								
SCOPE1	8.02																									
SCOPE2	45.81																									
SCOPE3(カテゴリー1)	34.25																									
SCOPE3(カテゴリー2)	8.65																									
SCOPE3(カテゴリー3)	0.00																									
SCOPE3(カテゴリー4)	0.42																									
SCOPE3(カテゴリー5)	0.16																									
SCOPE3(カテゴリー6)	0.04																									
SCOPE3(カテゴリー7)	0.58																									
SCOPE3(カテゴリー8)	2.06																									
SCOPE3(カテゴリー12)	0.01																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 : 46.17%</li> <li>目標の対象セクター : カテゴリー1</li> </ul>																										

# ローム株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動の影響により発生する洪水や渇水によって工場が操業停止となる。</li> <li>● 規制強化や顧客からの要請が高まり、GHG排出量削減のために再生可能エネルギーを調達するなど、エネルギーコストが増加。</li> <li>● 炭素税の導入によりコストが増加。</li> </ul> <p>機会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● GHG排出量削減のための生産性向上や不良削減への取組みがコスト削減へ繋がる。</li> <li>● 環境配慮型製品の需要が高まり、売上げが拡大する。</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自社の掲げる経営戦略である「SDGs達成貢献とCSVの実現」には、気候変動に対する中長期目標の設定が不可欠であり、Webページや各種報告書および調査回答を通じてSBT取得を発信し、あらゆるステークホルダーの皆さまの信頼を高め、中長期的に取引きのできる、信用のできる企業であるとアピールすることで、ビジネス機会拡大に繋げる。</li> </ul>

# ローム株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● SBT要件と現状のギャップを分析し、不足分のデータ収集を行い、基準年度のGHG排出量を算出し直し、適用範囲を拡大した。</li><li>● SBT削減目標算定ツールを用いて、基準年から目標年の削減率を算出し、目標案を検討した。</li><li>● 気候変動対策関連の専門部会にて数値を検証中で、その後、環境委員会で社内コンセンサスを得た上で、経営層への報告を予定している。</li><li>● 経営層の承認を得られれば、SBT事務局へ認証申請を行う。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope3の算定方法見直しおよび削減目標の設定。</li><li>● 再生可能エネルギーの継続取得。</li></ul>